

資料室だより 130

2018年4月より当グレゴリオの家の講師として、また重要なスタッフとしてご活躍くださった西脇先生から、資料室も多大な貢献をいただいておりますのでここにその一部をご紹介します、あらためて感謝申し上げたいと思います。

また、西脇先生は2006年より2011年まで本科に在籍され、その後は司祭としてグレゴリオの家のミサ司式にもご協力くださっていました。先生の今後のご活躍をお祈りいたしたいと思います。

***Quomodo cantabimus canticum; Studies in Honor of Eward H,Roesner**
American Institute of Musicology 1992

これはレースナー教授の記念論文集です。彼の関係者、弟子たちがその分野（中世ルネサンス音楽研究）の論文を提出して編纂されています。カロリング時代のミサ聖歌本の制作について、またザクト・ガレンのノトケルのセクエンツィアについてなど興味深い論文が所収されています。

***音楽と数学の交差 桜井進 x 坂口博樹** 大月書店
大変面白い読み物です

***バッハ「マタイ受難曲」自筆楽譜ファクシミリ**

ベーレンライターの Documenta Musicologica のシリーズです。この楽譜の重要性については申し上げるまでもないでしょう。オリジナルはベルリンにあります。なぜベルリンにあるのかという問題を含めベルリン市立図書館の館長 Barbara Schneider-Kempf 氏による総合的な解説、また古文書学的なデータ、文献表も含まれています。マタイを演奏する機会のある方はぜひ、参照してみてください。

***J.S.Bach: Das geistliche Vokalwerke, Stuttgart Bach-Ausgaben Urtext**

バッハの宗教声楽作品すべての批判的校訂楽譜ですがペーパーバックで実用にも適しているすばらしいシリーズです。カルスから出版されておりますが日本人の鈴木雅明氏も校訂に加わっています。音楽室Cにありますので利用なさりたい方は杉本まで申し出てください。

(杉本ゆり 記)